

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	固体音小委員会	主 査 名：中澤真司 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：久野 覚 主 査 名：田端 淳
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>床衝撃音に関する研究は、床衝撃音遮断性能が日本住宅性能表示制度の評価項目でもあり、一般消費者の関心が高いことから、各種機関によって盛んに行われている。ところで、2000 年の測定・評価方法を示す JIS の改正や、近年の性能の向上、住まい方の違いなどにより、床衝撃音遮断性能に関する評価方法の見直しが強く迫られている。本小委員会では、床衝撃音の諸問題をとりあげ、JIS に追加されたゴムボール衝撃源による評価方法の検討を主体に活動を進めている。</p> <p>2009 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2008 年度に実施した聴感評価実験結果の詳細分析を行い、ボールを標準衝撃源とした場合の重量床衝撃音に関する評価方法案の学術的根拠を明確化する。 ・大会オーガナイズドセッションにて成果を公表する。 <p>2010 年度以降：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを標準衝撃源とした場合の重量床衝撃音に関する評価方法の提案 ・まとめ、成果公表の準備 ・成果発表 (シンポジウム) 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有 (2009 年度)</p> <p>中澤真司 (主査：鉄建建設)、稲留康一 (幹事：奥村組)、赤尾伸一 (三井住友建設)、井上勝夫 (日大理工)、漆戸雄 (フジタ)、河原塚透 (大成建設)、田中学 (日総試)、中川清 (清水建設)、中森俊介 (小林理研)、濱田幸雄 (日大工)、平松友孝 (音・環境研究所)、平光厚雄 (建研)、藤橋克己 (前田建設)、松岡明彦 (戸田建設)、矢入幹記 (鹿島建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>○固体音測定法検討WG</p> <p>鉄道振動・固体音の測定法は規格化されていないために、各機関がそれぞれの方法で測定を行っている状態である。そこで、鉄道振動・固体音等の測定方法に関する検討を行い、測定法の統一化に向けての一助とする。</p>	
2009 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物	
大会研究集会	1. 2009 年度大会 OS の開催
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初の計画通り実施できた。委員による聴感評価実験を新たに実施し評価方法案の策定に向けて検討を進めている。
委員会活の問題点・課題	聴感評価実験等、委員が手弁当で実施しており、時間や費用に対する負担が大きい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。